

第1号様式（第3関係）

第1回豊山町高齢者保健福祉審議会議事録

1 開催日時 平成23年8月4日（木）午後1時30分～午後2時30分

2 開催場所 豊山町役場 3階 会議室3

3 出席者

(1) 委員 7名

戸田望、鈴木豊也、安藤保正、鈴木泰男、江崎弘、養父清二、小坂啓史
欠席者：1名 尾野よし子

(2) 事務局

福祉課長 堀場昇、地域包括支援センター館長補佐 尾関礼子
高齢者・介護係長 横田仁美、高齢者・介護係主査 下村友美
株創建環境エンジニアーズ 環境・福祉計画部 部長代理 小川哲也

4 議題

1. 開 会

2. 議 題

(1) 平成22年度介護保険サービス、福祉サービス実績報告

(2) 平成22年度豊山町地域包括支援センター事業実施報告

(3) 平成23年度豊山町地域包括支援センター事業予定報告

(4) その他

5 会議資料

当日配布資料

①参考資料1：平成22年度介護保険サービス、福祉サービス実績報告

②参考資料2：平成22年度豊山町地域包括支援センター事業実施状況表
平成23年度豊山町地域包括支援センター事業実施予定表

6 議事内容

司会	只今より、平成23年度 第1回高齢者保健福祉審議会を開会いたします。 本日の司会進行をさせていただきます福祉課高齢者介護係の下村と申します。 宜しくお願いいたします。本日、尾野委員から欠席の報告を頂いておりますのでご報告致します。 今年度の異動に伴い、事務局のメンバーが変わっておりますので課長より自己紹介します。
福祉課課長	皆さん、こんにちは福祉課長の堀場と申します。4月に総合福祉センターから、異動して参りました。宜しくお願いいたします。本日、審議会を開催する

	<p>にあたり、お忙しい中ご参集いただきましてありがとうございます。ご審議のほど宜しくお願ひしたいと思います。</p> <p>それでは事務局から自己紹介をさせていただきます。</p>
事務局	<p>地域包括支援センターの尾関と申します。</p> <p>昨年度に続いて今年もよろしくお願ひ致します。</p>
事務局	<p>高齢者介護係の係長の横田です。</p> <p>よろしくお願ひ致します。</p>
事務局	<p>福祉課の下村と申します。</p> <p>よろしくお願ひ致します。</p>
司会	<p>それでは審議会に先立ちまして、会長からご挨拶を頂きたいと思ひます。</p> <p>会長、よろしくお願ひ致します。</p>
会 長	<p>皆様こんにちは。大変お忙しいところ、平成 23 年度第 1 回目の豊山町高齢者保健福祉審議会に、ご参集いただきましてご苦労様でございます。日頃は、当審議会運営にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。</p> <p>さて本日の審議会については、既にご案内させていただいている通りとなります。宜しくご審議のほどお願ひ申し上げまして挨拶にかえさせていただきます。どうぞ宜しくお願ひいたします。</p>
司会	<p>ありがとうございました。以降の議事の進行につきましては、会長にお願ひいたします。よろしくお願ひいたします。</p>
会 長	<p>只今から議事の進行を始めさせていただきます。本日の議題は、第 5 次豊山町高齢者福祉計画・第 4 次介護保険事業計画に基づいた介護保険事業と、地域包括支援センター事業に基づいた平成 22 年度事業実績報告、並びに平成 23 年度の地域包括支援センター事業予定についてです。皆様より忌憚のないご意見をいただきますようご協力お願ひ申し上げます。</p> <p>初めに議題 1 についてですが、平成 22 年度介護保険サービス、福祉サービス実施報告について事務局からご説明を致しますので、よろしくお願ひ致します。</p>
事務局	<p>それでは、平成 22 年度実績報告をいたします。</p> <p>資料 1 に添ってご説明いたします。</p> <p>まず、高齢者数、認定者数等について、平成 22 年度の認定者数は 367 名で、前年度と比べると、認定者数は約 37 人ほど増えております。内訳を見ますと、要支援認定者数の増加は 1 名でした。これは、介護予防事業の成果として評価できると思ひます。また、要介護認定者数は増加しており、要介護 2・4・5 の方の増え幅が大きいです。介護保険制度が始まった平成 12 年には要介護認定者数は 125 名でしたが、年々増加しており近年は約 3 倍に達しております。また平成 22 年度 3 月末の高齢化率は、19.28%でした</p> <p>次に介護サービス別の実績の報告をいたします。資料に添ってサービスの説明をします。各サービスの回数は年間延べ回数です。人数は 1 ヶ月平均人数を出しております。</p>

訪問介護サービスの利用人数の大幅な増えはありませんが、延べ回数が増えております。これは1人あたりの利用回数が増えていると判断しています。利用者は要介護5が最も多く42.9%、次いで要支援2が33.3%となっています。

次に訪問看護の実績数も大幅に増えており、重度介護者が自宅で生活するためには医療サービスが必要になっていることを表しています。

訪問看護の利用者をみますと要介護5が14.8%、次いで要介護3が13.0%となっています。次に通所介護の利用者数、回数とも大きく増えており平均利用日数は要介護4が16.4日、要介護3が11.8日、要介護5が11.5日となっております。短期入所の平均利用日数は要介護2が12.8日と最も多く、次いで要介護4が10.4日となっています。短期入所の延べ日数もかなり増えております。

居宅療養管理指導の利用者はほとんどが施設入所者であり、施設に定期的に往診する医療機関と薬を届ける薬局からの請求です。その方の病状を確認したり薬の説明をしたりをすることで指導料を受領できるというものです。

次に住宅改修においては要支援の方の改修が増えております。これは住み慣れた自宅でできるだけ長い間生活していくためには、是非必要なサービスですので要支援の方もかなり利用するようになりました。

居宅介護支援事業ですが認定者数が去年より37名増えておりますので、その分だけ居宅介護支援とってケアマネージャに相談してサービスを利用する、この仕組みを仲立ちするケアマネージャを利用する方が増えております。

施設サービスと特定入所生活介護ですが、特定入所者というのは有料老人ホームに入っている方のことです。施設サービスは介護老人福祉施設、老人保健施設、療養型医療施設の三つの施設の入所人数ですが昨年度とほとんど同じ人数です。施設入所者はとりたてて増えてはおりません。

これらのことから、施設入所申し込みをされている方は大勢見える反面、実際に入所は困難であり、要介護度の重い方もサービスを利用しながら在宅で生活してみることがうかがえます。

最後に認知症対応型共同生活介護とって豊山に1つありますグループホームとよやまの憩ですが、22年度秋には定員の9名が満床になりました。

現在、入所待ちの相談を受けるほどになっております。

次に高齢者福祉サービスですが、家族介護用品支給の利用者数は増えておりますが他のサービスの大幅な増加はありません。在宅で生活をしていく上では、これらのサービスをもう少し充実させる必要があるかと考えています。

最後に介護給付費の実績をご覧ください。

平成21年度は20年度から見ると3千万円増えておりますが、これは自然増であり問題にはしてはおりませんが平成22年度には21年度からみるとかなりの額が増えております。これは介護報酬の改定等がありましたことに加えて居宅サービスとって施設入所者が増えていない分、自宅で生活する人が通所介護や訪問看護、住宅改修、短期入所生活介護等、在宅でのサービスをたくさ

	<p>ん利用することによって増えてきた数字だと思っております。</p> <p>今年度は、5億9千万円の介護給付費を見込んでいます。今年度から来年度にかけて、町内にデイサービスセンターが1ヶ所出来ることと、北名古屋市に混合型老人福祉施設が2ヶ所と、清須市に第5特別養護老人ホームの3か所の施設が出来ますので、おそらく23年度はこのくらいの数字になると予想しております。</p> <p>以上、資料1の報告を終わります。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。現在の介護保険事業計画につきましては、平成21年度から平成23年度までの3年間を1期として策定された事業計画です。2年目、平成22年度の事業報告についてご説明がございました。</p> <p>委員の皆様より、ご質問やご意見等ございましたらご発言いただきたいと思っております。</p>
委 員	<p>平成22年度の5億4千560万という実績があります。計画で予定していた数字と比較してどうなのでしょう。</p>
事務局	<p>計画の予定より低い数字です。</p>
委 員	<p>高齢者福祉サービスで、緊急通報システムはどこへ繋がりますか。119番でしょうか、それとも福祉課ですか。</p>
事務局	<p>豊山町が委託契約している、安全センターがあります。そこに電話が通じます。安全センターで電話対応するのは看護師です。本人のご容態をお伺いして、救急車の要請が必要な場合は、救急車を要請、その他、登録されている身内へご連絡が入る仕組みとなります。</p>
委 員	<p>これは24時間体制ですか。</p>
事務局	<p>はい、そうです。</p>
委 員	<p>年間の利用数はどのくらいになりますか。</p>
事務局	<p>月平均1、2名ですね。</p>
委 員	<p>私の担当で、設置を希望している人がいます。これは、福祉課で登録の申し込みをするのでしょうか。</p>
事務局	<p>現在は、まず要介護認定を受けていただきます。要支援や要介護の判定を受けた方で、別途希望者が申請をしていただき、設置されます。</p>
会 長	<p>福祉サービスを受けるためには、介護保険の認定を受けなければなりませんか。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
委 員	<p>居宅サービス、介護サービスですが、平成20年度から平成22年度まで、どの程度、利用が増加していますか。本来、福祉はなおざりには出来ませんので、無駄なお金を使うわけではありませんが、財政面もあります。そればかりに特出しすぎても心配です。10年で、倍ぐらいの金額がいるのではないかと思うのですがどうでしょうか。</p>
事務局	<p>平成12年度当初の数字を、今頭に入れておりませんのでわかりませんが、</p>

	<p>豊山町では、ぎりぎりになってから要介護の申請をされます。何でもないときから、申請を受け付けているわけではありません。</p> <p>安心のために申請を望む方もいますが、窓口で対応したときに、要介護認定は、サービスを受けることで意味があるのであり、安心のためのお守りではないので時期がきたらとお話させていただいております。</p> <p>認定を受けますと、お医者さんに意見書を求めることとなります。まずその費用から発生してしまいますので、無駄な申請を出来るだけやめていただくようお話しています。</p> <p>それからサービスは、本当に必要な部分しか受けられません。無駄なサービス費用という判断はしておりません。</p> <p>介護給付費に関しましては、国、県、市町村の補助金、40歳以上の介護保険料でまかなっております。</p> <p>実績としてその補助金と保険料から足りなくなった現状は未だにありません。今後もないように計算する必要があるとは思っています。</p>
委員	<p>他の市町村に比べて、1人あたりの支出金額がそんなに多い方ではないということですね。</p>
事務局	<p>そうですね。毎月の個人負担分の1割の額を見ますと、皆さん1万円ぐらいです。要介護5になりますと、月3万から5万円の支出をしています。利用者の1割の費用です。10割に直しますと、1人月平均15万円ぐらいから20万円になります。</p>
委員	<p>施設で、平成23年度予算で介護給付費があがっているのは、施設が増えるということでしたが、待機者はどの程度解消されるのでしょうか。それから今後グループホームの増設計画はありますか。</p>
事務局	<p>グループホームの増設は、第5次介護保険計画では今のところ必要ないという話が担当者で出ております。</p> <p>満床になるにあたって、平成21年の4月オープンしましたが、平成22年の9月に、1年半かかりやっと満床になりました。</p> <p>満床は9人なのですが、半数が豊山町の住民で、半数は、有料老人ホームから転居した方になります。</p> <p>実際豊山町の住民は半数だけです。増設しても豊山町の住民がすぐに入るかと申しますと、地域性から見てうかがえませんので第5次計画では見送りを考えています。</p> <p>特別養護老人ホームの入所の待機者数は、25名ぐらいです。それが全て24年4月にオープンする第5特養で解消できるとは考えておりません。</p> <p>それから北名古屋市に、今年から来年出来る混合型有料にも、ある程度入れるとは思いますが、金銭的に余裕が無いため、特養待ちの方が半数以上は残ると考えています。</p>
会長	<p>他にご意見が無いようですので、議題1 平成22年度 実績報告につきましてには了承したということで、議題2へ移ります。事務局より、平成22年度</p>

	豊山町地域包括支援センター事業実施報告をお願いします。
事務局	<p>それでは、地域包括支援センターからご報告します。</p> <p>地域包括支援センターは介護保険で定められおり、65歳以上の方の心身の健康の維持や介護予防、虐待防止や介護予防マネージメント等、様々な話題に対して事業を展開しています。</p> <p>参考資料をご覧ください。22年度の実施状況をご報告致します。</p> <p>介護予防事業として特定高齢者に対する事業ですが、特定高齢者とは生活機能が低下して介護が必要になる恐れのある高齢者ですので介護にならないように援助していくということになります。</p> <p>事業名で特定高齢者把握事業としまして65歳以上の方全員に基本チェックリストを配付します。その後、生活機能健診を実施します。そこで特定高齢者を決定します。実施回数と参加者数ですが基本チェックリスト対象者は2438名でした。回収数は2086名で回収率が年度末で85.6%となっております。生活機能評価受診者は83名で特定高齢者決定者109名、そのうちサービス利用者が34名となっております。</p> <p>次に特定高齢者把握事業として高齢者宅を訪問し状況の確認や介護予防指導を行っています。年67回実施し、参加者409名です。</p> <p>通所型として運動機能と口腔機能向上のための教室を開催しております。「おいしく食べて健康教室」という名前で実施しています。年17回実施し、参加者23名でした。教室終了時の結果は、改善が9名で悪化1名でした。</p> <p>訪問型による運動機能等の機能向上等の教室については保健師等が訪問により生活機能に関する問題を総合的に把握し生活機能向上のための相談、指導を行いました。利用者は20名でした。年度末の結果では改善者3名、悪化0名でした。</p> <p>一般高齢者施策として介護予防普及啓発事業を行っています。例えばパンフレット配布とか介護予防手帳を配布しています。</p> <p>その他、講演会を年に41回、参加者167名、健康福祉フェスティバルの開催、介護予防啓発の相談会等を行っています。</p> <p>地域介護予防活動支援事業として様々な教室を開催しています。順にご紹介しますと、ボールクラブといってボールを使って運動機能向上をはかる教室です。年14回実施し参加者88名です。</p> <p>音楽クラブといって音楽によって脳の活性化をはかるという教室です。年14回実施し参加者167名です。</p> <p>元気教室といって運動とか体操を行っている教室です。年12回実施し参加者208名です。</p> <p>健康アップサンサン会といってリハビリ訓練を主に行い運動機能向上をはかっている教室です。年46回実施し参加者237名です。</p> <p>折紙教室といって折紙を通して脳の活性化をはかる教室です。年24回実施し参加者214名です。</p>

	<p>健康ホットサロンといって、しいのき、ひまわりやさざんかといった施設に出向き健康講話等を開催しております。年30回実施し参加者357名です。後、介護予防教室として健康体操クラブ等の方に対して健康講座とか身体チェックを行っています。年42回実施し参加者465名です。</p> <p>老人クラブの活動に出向いて健康体操等の普及も行っています。年10回実施し参加者201名です。</p> <p>ボランティア育成のための講座として主に散歩ボランティア、散歩を通してボランティアを行ったり、認知症のキャラバンメイトの研修会を開催しています。年13回実施し参加者271名です。</p> <p>相談事業として高齢者の総合相談窓口とか民生委員さんとの情報交換とか75歳以上の高齢者の実態調査を実施しております。</p> <p>権利擁護事業としては権利擁護に関する研修会をケアマネージャーを対象に実施しています。年1回実施し参加者19名でした。</p> <p>高齢者虐待対応ネットワーク会議といって学習会とか意見交換会を行っています。年5回実施しています。</p> <p>包括的継続的ケアマネジメント事業として地域包括ケア会議を年9回実施しました。次にケアマネージャー研修会といってケアマネージャーの後方支援を行っています。年2回実施し参加者45名でした。</p> <p>任意事業としては家族介護支援を年3回実施し参加者145名でした。家族介護交流事業としては介護者を介護から解放しリフレッシュしてもらう会を年1回実施し参加者10名でした。</p> <p>認知症介護者のつどいを年6回実施し参加者56名でした。</p> <p>認知症サポーター養成講座ですがサポーターを養成したり、指導者のキャラバンメイトを養成するもので、キャラバンメイトが20名、サポーターが231名おります。次に成年後見人支援事業として啓蒙活動や相談を行っています。最後に介護予防支援事業として要支援の方に対して介護予防のプランの作成等を行っています。263件でした。</p> <p>以上で報告を終わります。</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございます。高齢者の健康や、生活の安定の為に、様々な援助、支援に取り組んでいただいております。地域包括支援センター事業における、平成22年度の実施状況をご報告いただきました。ご質問やご意見等ございましたらご発言いただきたいと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>資料についてですが、「特定高齢者の訪問…ここにありますが」とありますが、「69名の参加者」というのは、69名に訪問したということでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>失礼いたしました。「参加者」という表現が間違っています。在宅に訪問しておりますので、「訪問宅」です。ご自宅へこちらがお伺いいたします。</p>
<p>委 員</p>	<p>数人で訪問するのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>殆ど保健師が1人となります。</p>

委 員	「参加者 409 名」とは？
事務局	1 日に班単位で何件か訪問します。ご夫婦であれば 2 人とカウントされております。同じ方へ何度も訪問することもありますし、保健師 2 人の時もあります。主に、チェックリストが返ってこない人を把握して状況を確認しています。
委 員	特定高齢者は、どのように特定しているのですか。
事務局	65 歳以上の方に全員にお送りする基本チェックリストのアンケートとなります。本日配布されている資料のアンケートとなります。国で定められた基準で、生活機能の低下を把握します。
委 員	このアンケートの実施報告によりますと、まず 65 歳以上の基本チェックリストのアンケートがございますね。次に、特定高齢者のアンケートがありますね。もうひとつ、この 75 歳以上の高齢者、この三つに分けて動いておられるのでしょうか。
事務局	基本的には、基本チェックリストが全体です。75 歳以上は特別に民生委員さんに協力いただいておりますので、ここで挙げさせていただいております。784 名は民生委員が何らかの形で、対応してくださっている方の人数となります。
委 員	平成 22 年度の基本チェックリストの回収率は、85.6%ですが、今年度の回収率が 68.10%と少ないのですが何か理由がありますか。
事務局	平成 23 年度の数字は、年度末ではありません。郵送での回収は 6 割から 7 割になります。その後、お電話や訪問で回収し、年度末には 85%を目標としております。
委 員	特定高齢者の通所型を年 17 回、熱心に行っていますが、参加者 23 名となりますと、単純に平均しますと 1 回あたりの参加人数が少ないですね。
事務局	これは延べ人数ではなく実数で 23 名となります。
委 員	毎回 23 名ということでしょうか。
事務局	波はありますが、実数となります。
委 員	訪問型の利用者 20 名ですが、これは何回ぐらいまわられたのでしょうか。
事務局	1 回班単位で 2 名ずつ行きますので、10 日間ぐらいだと思います。
委 員	包括支援事業の権利擁護事業についてです。研修は具体的にどのような内容になり、どのような方が参加されるのでしょうか。ケアマネージャーですか。
事務局	はい。支援事業の研修会ときはケアマネージャーが主な参加者となります。ケアマネージャーは、成年後見の専門ではありませんが、対象者にとっても密着しています。基本的なことからお伝えしております。利用できる対象者など具体的なことを、弁護士、行政書士の方よりお話いただいております。 ケアマネージャーは新人の方が多いですので、基本的な知識で、まずどこへ相談すればよいか学んでいただきます。
委 員	一般高齢者向けの介護予防支援事業がいろいろありますが、参加者の男女比率が気になります。あちこち参加しますと、女性が多く男性の参加者が少ないことがあります。男女比についてはいかがでしょうか。特にこの折り紙会に男性はまずいないだろうと思うのですが…。

事務局	はい、折り紙会は女性ばかりですね。大体8対2となります。
会 長	議題2につきましては、いろいろご質問ご意見が出ましたので了承してまいりたいと思います。では引き続きまして、議題3、平成23年度地域包括支援センター事業実施予定表について事務局よりご説明をお願いいたします。
事務局	<p>参考資料3をご覧ください。平成23年度 豊山町地域包括支援センター事業実施予定表になります。新規事業としては、介護予防一般高齢者の地域介護予防活動支援事業「男の料理教室」というものがあります。先ほど意見がありましたように男性の参加者が少ないということで、23年度は是非、男性に料理を覚えていただき健康的な料理が作れるように実際に包丁を持っていただき料理の基本を勉強していただいて食べて頂くという講座を計画しています。</p> <p>特に夫婦二人暮らしで奥さんの介護を必要とする方や男性一人暮らしの方を対象として開催を予定しております。後は家族介護支援事業の認知症介護者のつどいのところで今年度は自主的な交流活動をめざしていきまして、2ヶ月に1回程集まって頂き、お互いに介護の工夫等を話し合い、お互いが相談に乗りあえるように支援していきたいと思っています。</p> <p>新規の事業は以上の2点になります。 以上です。</p>
会 長	平成23年度 地域包括支援センター事業実施予定についてご説明がありました。新しい支援事業ということですが、皆様ご質問やご意見はございますか。
委 員	私の不勉強かもしれませんが、この地域包括支援センターの予算は、豊山町の税金で運営されているのでしょうか。健康保険が関係していますか。
事務局	この予算は主に介護保険料となります。
委 員	事業予算は、およそ何%でしょうか。この事業費は給付とは別ですよ。この地域支援の大枠に入っているのでしょうか。
事務局	その枠に入っています。また別枠でも予算を取っておりますが、何%といいますと難しいです。
会 長	他には何かご質問はございますか。
委 員	新たに、男の料理教室という事業が入っています。具体的にどのような内容になりますか。
事務局	名称はまだ決まっておきませんが、栄養士と共に作る計画をしております。お惣菜を買ってどうするかなど。男の方だと、ほうれん草の湯で時間は何分ですかという質問になります。基本的にどう料理するかという内容で、家でも野菜を食べていただければと思います。
委 員	基本的なことですが、メニューはないのですか。
事務局	メニューもバランスのとれたレシピを目指して検討しています。
委 員	料理教室は、前のプランのときも何かやっていませんでしたか。
事務局	はい。生涯学習でやりましたね。あれは本当にプロの方が一緒に行うものです。今回は、普通の料理、例えばごはんの炊き方なども考えています。1人暮らしの方は、ごはんもレンジで温めるタイプのもを購入するのですよね。インスタントラーメンなど…。

<p>会 長</p>	<p>その他何かございますか。ご意見もご質問もないようですので、議題3 平成23年度 地域包括支援センター事業実施予定報告については了承してよろしいでしょうか。それでは了承したいと思います。</p> <p>本日の議題につきましては以上です。議題4では、その他となっておりますが、事務局より何かご報告はありますでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今年度策定予定の第6次豊山町高齢者福祉計画・第5次介護保険事業計画の策定状況の報告と皆さんからのご意見をお伺いしたいと思います。</p> <p>第5次介護保険事業計画は、これまで厚生労働省が推計を出しておきまして平成27年にはいわゆる団塊の世代が65歳以上になって、1年程前は総人口の4人に1人が高齢者になると言われていたのですが、今日現在3人に1人が高齢者になると予測がされています。そして前例のない超高齢者社会が訪れると予測されていますので、介護保険事業計画は平成27年度を最終目標年度としまして、高齢者一人一人が自分らしく自立した生活を送り活力ある超高齢者社会を実現するために介護等何らかの支援を必要とする高齢者のサポートとともに元気高齢者、二次予防高齢者を含む全ての高齢者に対する健康づくり、社会参加への支援、介護予防の推進等を課題とすることが目標となっております。</p> <p>豊山町では今年の6月から皆さまのお手元にございますアンケート調査を計画策定に先立ちまして行いました。アンケートの種類ですが、先ほどご説明しました基本チェックリスト、これは地域包括支援センターが出しています。また地域包括支援センターの基本チェックリストとともに計画策定に向けた調査である高齢者福祉計画に関するアンケートを一緒に送らせて頂きました。</p> <p>これらの配付件数は、一般高齢者向けは基本チェックリストが配付数2436件でしたので計画策定に関するアンケートも2436件配付しております。</p> <p>その次に要介護者向けのアンケート、そして要支援者向けのアンケートというものを福祉課から独断で出しています。これらのアンケートを回収し集計した結果のデータを基に計画策定に活かしたいと思っております。</p> <p>現在のアンケート集計の結果ですが、アンケートを送ったのは6月15日です。回収締切日を7月31日に区切らせて頂きました。回収率は今現在、計画策定に向けたアンケートは68.10%、要介護者向けアンケートは61.37%、要支援者向けアンケートは65.22%となっておりますのでアンケートの集計のデータとしては問題ないかと思っております。</p> <p>アンケートとともに現在、私どもは今回の資料に載せましたように色々なデータを持っていますので、これらのデータを活用して介護給付費の推計、人口動態、要介護認定者数の推移等を分析しているところです。</p> <p>その中で判ってきた事がありますのでご報告いたします。</p> <p>豊山町の人口動態をピラミッド形にして見てみますと、とても良い傾向がうかがえます。何故かと申しますと出生率が全国比率よりも高く、男女ともに35～39歳の中間層の人口が最も多いからです。そしてその前後の人口を含め</p>

	<p>た 30～44 歳の人口も割と高いレベルにあります。高齢化率も 19.28%と先ほど報告しましたが町全体としてはとても若い町と言えます。</p> <p>また厚生労働省が指摘しているように平成 27 年には 65 歳以上が 3 人に 1 人ではなく、豊山町では 5 人に 1 人位の割合になると思います。</p> <p>ただ全国的には 5 年後に最も超高齢者社会になるのですが、豊山町の場合は 5 年後はまだいいのですが、この先 10 年後位、そうですねこの事務局の 3 人が 65 歳になる頃に超高齢者社会になると思います。ですので 10 年後を目指して介護保険計画を策定しなければならないと思っています。</p> <p>そして、なおかつ豊山町の場合は平成 27 年度以降、65 歳以上の男女の比率で女性の割合がさらに多くなります。ということは第 5 期介護保険事業計画では男性への介護予防をいかに考えていくことが必要かが少し見えてきたような気がします。</p> <p>その中で豊山町のサービスの種類毎の見込みとか地域支援事業計画とか認知症への対策、高齢者の住まいの計画的な整備や見守り、先ほどの福祉サービスにありました給食サービス等の生活支援サービスの充実を盛り込んだ計画が必要ということが見えてきたことが今の状況です。</p> <p>この計画策定をするにあたり、皆さんからご意見等ありましたらお伺いしたいと思いますのでよろしくお願い致します。</p>
委員	<p>アンケートに記載されているサービスで実際の利用者がその内容を何も理解していないものが多いのではないのでしょうか。居宅療養管理指導と聞いて、受けていますかという質問に「はい」と答える人は 0 だと思います。例えば医者が、あなたは慢性疾患だと説明しても、患者は、こういうことに気をつけなさいと言われたな程度にしか記憶に残りません。</p> <p>このアンケートは少しわかりにくいです。私でも、医療なのか介護なのか、本を確認してみないとわからないです。そのぐらいの内容です。</p>
委員	このアンケートを作ったのは豊山町ではなくて、全国的なものではないでしょうか。
事務局	そうです。用語が難しいですね。
委員	理解するのに用語が全て難しいです。
委員	毎日の生活に充実感がありますかという質問も、選択肢が「はい」か「いいえ」の 2 つです。
委員	評価が 10 段階あると良いですね。ある程度満足、少し満足…。2 択でいいえと言われてもね。
事務局	はい。気をつけます。
委員	意見は次のアンケートに反映するのでしょうか。決まっているものについての報告に、意見を申し上げても意味がありません。事務局が提示する内容を、そのまま了承しましたということでは何の為にしているのかわかりません。会長、お願いいたします。

会 長	はい。その他ご意見はございますか。
事務局	計画策定の審議会日程予定を後ほどご連絡します。そこでご意見をいただいて修正したいと思います。それから、平成 22 年度の最後の審議会で、皆様より東日本大震災の義援金をいただきました。6 月に皆さんのお手元に領収書が届いていると思います。平成 23 年度の確定申告で提出していただきますようお願いいたします。
事務局	今後の審議会の日程の予定をお伝えさせていただきます。 今年度は年 4 回を予定しておりまして、本日が第 1 回目でございます。 次の第 2 回目は、まだ日にちは決まっていますが 10 月下旬を予定しています。その時にアンケートの集計の結果が出てきますので、アンケートの集計を基にした素案を作りまして皆さまにご提示させていただきたいと思います。 第 3 回につきましては、その素案を基にまた検討させて頂いて年末の 12 月を予定しています。その時には原案という形で報告をさせて頂きたいと思います。最後の第 4 回は 3 月を予定しています。その時には計画を確定させて頂きまして皆さまの承認を受けるという形で諮問をお願いすることになります。 以上のような予定で進めさせて頂きたいと思います。 よろしくお願い致します。
会 長	最後に、皆様の方からご意見、ご質問があれば、よろしくお願い致します。
委 員	今回の審議会の報酬を震災の義援金として寄付したいと考えています。 ご賛同いただける方は、ご協力お願いいたします。
会 長	以上をもちまして、今年度第 1 回目の審議会を閉会します。ご協力いただきありがとうございました。

上記のとおり、第 1 回豊山町高齢者保健福祉審議会の議事の経過及びその結果を明確にするため、この議事録を作成し、会長及び出席者 2 名が署名する。

平成 23 年 9 月 14 日

会 長 戸 田 望

署 名 人 鈴 木 豊 也

署 名 人 安 藤 保 正